

建築士

K E N C H I K U S H I



2026
July

Vol.75 No.886

7



特集

第34回全国まちづくり会議 inみやぎ

この人に聞く

藤原 恵洋 氏 建築史家

特集 10 第34回全国まちづくり会議 in みやぎ

〔テーマ〕「東日本大震災から15年 復興の形と記憶の継承」
— 建築士会が関わった復興住宅の今と震災遺構を訪ねる —

- | | | |
|----|--|---|
| 10 | 特集のこたば | 清水 耕一郎 |
| 11 | 「東日本大震災から15年 復興の形と記憶の継承」 | 古谷 誠章 |
| 12 | 講演1 宮城県女川町の復興まちづくりについて | 講師 / 木村 明宏 氏 |
| 14 | 講演2 巨大地震・津波の被害想定と必要な備え・行動 | 講師 / 横谷 光俊 氏 |
| 16 | パネルディスカッション
「パネラー報告」 木津 努 「コーディネーター報告」 小林 淑子 | |
| 18 | 女川町竹浦の復興に関わって
ふるさとの浜に残った「これでよかった」
— 建築士会の漁村集落竹浦の高台移転支援はなぜできたか
女川町竹浦の復興に関わって
「美しい復興」と「幻の集約プラン」 | 三井所 清典
森崎 輝行
鈴木 成夫 |
| 22 | 第34回まちづくり会議に参加して
〔景観まちづくり部会〕 皆が共に悩み、考え、そして結論を出してきた復興まちづくり
〔防災まちづくり部会〕 防災まちづくりの観点から
〔歴史まちづくり部会〕 歴史まちづくりの視点から
〔街中（空き家）まちづくり部会〕 街中（空き家）まちづくりの視点から
〔福祉まちづくり部会〕 福祉まちづくりの視点から
〔木のまちづくり部会〕 木のまちづくりの視点から | 豊永 信博
佐々木 昭仁
塩見 寛
高橋 康夫
川口 孝男
三井所 清典 |
| 28 | 全国7ブロックからのまちづくり活動報告
北海道ブロックからの活動報告 清水 浩史
東北ブロックからの活動報告 小原 正明
関東甲信越ブロックからの活動報告 渡邊 清
東海北陸ブロックからの活動報告 倉田 裕司 | 近畿ブロックからの活動報告 芳村 隆史
中国四国ブロックからの活動報告 坪倉 菜水
九州ブロックからの活動報告 富田 浩司 |

〔今号の表紙〕

都市風景から学ぶこと 「歩く」「たたずむ」「集う」 第7回
ブーゲンビリアが咲きほころまち
— ホイアンのチャンファー通り — 上西 明

2 オピニオン

日本独特の空間の襲と地域資源 植本 俊介
岡山大学の建築コースの創設 河崎 弥生
「まちに関わる建築士」 — 建築士の職能 仙入 洋
「木を活かすは、森から始まる」
地域材と建築をつなぐ視点 吉田 敦彦

4 この人に聞く 第211回

建築の保存運動は「民主主義のトレーニング」 [取材・文] 古田 孝 (ルポライター)
藤原 恵洋 氏

35 北から南から

北海道 地元の小学校を折り紙建築に! 奥沢 奈恵
高知 「サマーセミナー」を次の世代へ 前田 矩仁子

36 Report

第25回 日・韓・中建築士協議会 蘇州会議 櫻井 泰行

41 旅から旅絵 第151回

中国の旅 香港…九龍城砦 龍口 元哉

連合会からのお知らせ

52 令和8年度「建築士の日」記念講演および
パネルディスカッション・動画配信のご案内

53 News Clip

55 イベント・新製品のご案内

CPD 講座

42 旧外地の建築規制と都市計画 第4回 外地都市計画の「市街化調整区域」…………… 五島 寧

46 現代の建築生産における情報の流れ 第5回

一般普及を目指す木材の不燃・耐火技術 …………… 林 盛

暑中お見舞い申し上げます

令和 8 年



MAKE BEYOND つくるを拓く

株式会社 大林組

代表取締役社長 兼 CEO 佐藤 俊美

〒108-8502 東京都港区港南二丁目 15 番 2 号

<https://www.obayashi.co.jp/>



株式会社 桂 設 計

代表取締役社長 寺 嶋 憲 二

〒162-0806 東京都新宿区榎町43-1 プライム神楽坂ビル 4F

TEL 03-3269-6411 FAX 03-3269-6424

<http://www.katsurasekkei.co.jp>



株式会社 佐藤総合計画

代表取締役社長 鈴 岩 崇



NIKKEN

EXPERIENCE, INTEGRATED

代表取締役社長 大松 敦

東京都千代田区飯田橋2-18-3

Tel. 03-5226-3030

<https://www.nikken.jp>

日建設計



三菱地所設計 Mitsubishi Jisho Design

代表取締役社長 谷 澤 淳 一

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル
www.mjd.co.jp



株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

代表取締役社長 藤 田 秀 夫

東京都中央区日本橋小網町6-1 TEL : 03-3249-1555



株式会社 豊建築事務所 Yutaka Architects

代表取締役 田 中 秀 朗

〒107-0062 東京都港区南青山1-15-14 新乃木坂ビル

TEL 03-3404-3546 (代) FAX 03-3404-3549

<http://www.yutaka-arc.co.jp>



一般財団法人 経済調査会

理事長 森北佳昭

〒108-0014 東京都港区芝5丁目34番2号 ミタマチテラス

TEL 03-5777-8211 FAX 03-5777-8226

<https://www.zai-keicho.or.jp>



一般財団法人 建築行政情報センター

理事長 瀬 良 智 機

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1丁目15番地 神楽坂1丁目ビル

TEL 03-5225-7701 FAX 03-5225-7731

<https://www.icba.or.jp>



一般財団法人 建築コスト管理システム研究所

理事長 春 田 浩 司

〒105-0003 港区西新橋3-25-33

TEL 03-3434-1530 FAX 03-3434-5476

<https://www.ribc.or.jp>

一般財団法人 建築保全センター

理事長 鈴 木 千 輝

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目24番8号

TEL 03-3553-0070 (代表) FAX 03-3553-6767

<https://www.bmmc.or.jp>



一般社団法人 公共建築協会

会 長 藤 田 伊 織

〒104-0033 東京都中央区新川1-24-8 東熱新川ビル

TEL 03-3523-0381 FAX 03-3523-1826

<https://www.pbaweb.jp>



建 築 士



一般財団法人日本建築センター The Building Center of Japan

理事長 橋本 公博

本部：〒101-8986

東京都千代田区神田錦町 1-9

TEL 03-5283-0461 <https://www.bcj.or.jp/>

大阪事務所：〒541-0053

大阪府大阪市中央区本町 1-4-8

TEL 06-6264-7731



日本住宅品質検査センター株式会社

代表取締役 松田 正市

〒111-0051 東京都台東区蔵前三丁目1番9号 ニキョービル8階

TEL 03-5829-6855 FAX 03-5846-9305

<https://www.jhqc-kensa110.com/>

公益社団法人 日本しろあり対策協会

会長 土井 正

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-12-12 オスカカテリーナ 4F

TEL 03-3354-9891 FAX 03-3354-8277

<https://www.hakutaikyo.or.jp>



一般社団法人 日本設備設計事務所協会連合会

会長 高木 俊幸

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-18-2 中野 オイスタービル4F

TEL 03-5276-1381 FAX 03-5276-1390

<http://www.jafmec.or.jp>

アルミニウム建材材料 アルミニウム総合商社



安田株式会社

代表取締役社長 安田 誠

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 1-11-9

長堀安田ビル 7F

TEL 06-6251-7091 FAX 06-6262-3629

<https://ashibane.co.jp>

支店 札幌 北関東 東京 名古屋 大阪 福岡

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

〒150-8488

東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

<https://www.aioinissaydowa.co.jp/>



まだ誰も知らない安心を、ともに。

建築情報サイト

www.kenchiku.co.jp

会誌『建築士』の広告は下記まで

株式会社 建 報 社

〒104-0033 東京都中央区新川 1-25-9 明産新川シティビル

TEL 03-5244-9335 (代表)

1級建築士合格実績

No.1

平成28～令和7年度 [10年間]
1級建築士 学科+設計製図試験
全国ストレート合格者合計
14,345名中 / 当学院受講生8,493名
全国ストレート合格者占有率59.2%



総合資格学院

本社：東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル22F

スクールサイト www.shikaku.co.jp 総合資格 検索

コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp

SNS X ⇒ [@shikaku_sogo](https://twitter.com/shikaku_sogo) LINE ⇒ [総合資格学院]

Instagram ⇒ [sogoshikaku_official](https://www.instagram.com/sogoshikaku_official)



東京海上日動火災保険株式会社

東京都千代田区大手町二丁目6番4号 〒100-8050

www.tokiomarine-nichido.co.jp

1928年(昭和3年)創刊

日刊建設工業新聞社

代表取締役社長

高橋 治光

〒104-0045 東京都中央区築地 5-6-10 浜離宮パークサイドプレイス 13階

TEL 03-4361-2090 FAX 03-6697-4401

<https://www.decn.co.jp>



「建設通信新聞 電子版」

検索

日刊建設通信新聞社

Architectures, Constructions & Engineerings, News(Daily)

本社 〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-13-7(名古屋ビル本館)

TEL 03(3259)8711 FAX 03(3259)8730

印刷のご用命は

バウスグラフィック株式会社

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-8-4 アルテール秋葉原708

TEL 03-6403-0799 FAX 03-6893-3931

(公社)日本建築士会連合会

令和8年度

建築士の日 記念講演およびパネルディスカッション・動画配信

あの時やっておけばよかった…

今、後悔しないよう 聴いておくべき!

テーマ

住まいの耐震・防耐火性能もチェックを

昨年度の一室断熱改修に引き続き、今年度は、能登半島地震、大分佐賀関大規模火災等で、既存木造住宅の脆弱な耐震性能・防火性能が注目されていることから、自宅の一室の断熱改修とあわせて耐震・防耐火を行うことで、地震時・火災時に自ら命を守る必要性を多くの方に知ってもらい、その様な分野でも建築士が職能を活かして貢献できることをアピールします。

7月1日は
建築士の日!
(6月28日10時～
無料配信中)

基調講演・パネルディスカッション

- ・基調講演① 長谷見雄二氏(早稲田大学名誉教授)による防耐火改修の紹介
住宅を部分的にでも火事に強くできれば、地震火災における・人命の危険を減らせるのではないかな
- ・基調講演② 稲山正弘氏(東京大学名誉教授)による耐震改修の紹介
災害時のリスク対策の観点から、断熱改修+耐震改修+防耐火改修の3点改修
それぞれ専門家の立場から、改修の必要性に関する基調講演
- ・パネルディスカッション 長谷見雄二氏+稲山正弘氏+古谷誠章(日本建築士会連合会会長)による断熱改修+耐震改修+防耐火改修の必要性について

YouTubeにて
無料配信中! 申込不要



連合会チャンネル



連合会HP

例えば小屋裏で繋がった屋根の延焼の危険性

小屋裏で延焼している



城崎温泉火災(2015)

小屋裏を延焼した

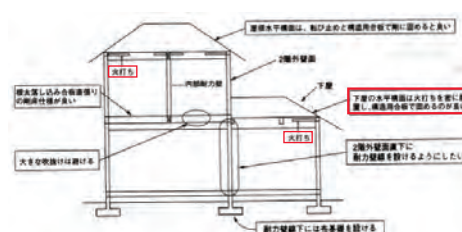


糸魚川火災(2016)

世帯間に界壁はあっても小屋裏で繋がっていると、小屋裏を通して次々に延焼し、消防隊も消火困難に。1959年改正で長屋等は小屋裏隔壁を義務化。但し、中々、遵守されなかった

1階部分の強化

1階の壁量が不足していたため
2階に押しつぶされて倒壊しない改修



水平構面の強化

小屋組や2階床下に火打ち又は水平ブレースを設置して水平構面を固める



火打ち金物の例
BXカネシン住宅資材カタログより



水平ブレースの例
タナカ住宅資材カタログより



昨年度の動画配信とあわせて
視聴すると、より深く理解できます。

▶ 昨年度の動画を公開中

申込不要



連合会チャンネル



連合会HP

お問合わせ

公益社団法人

日本建築士会連合会

✉ Mail:jigyo1@kenchikushikai.or.jp

日本建築士会連合会は、全国組織であり、建築士の職能の向上と社会貢献を目的に活動している公益法人です。

日建連、与党に公共事業予算の 拡充要望

日本建設業連合会（日建連）の押味至一
会長と蓮輪賢治、相川善郎両副会長ら幹
部は5月20日、木原稔官房長官と自民党
の鈴木俊一幹事長に、公共事業の当初予
算で規模の拡大を要望した。2025年度
補正予算と26年度当初予算の合計を上
回る予算規模を求めた。物価上昇を踏ま
えた実質事業量の確保も目指す。要望書
では、不安定な中東情勢が影響した原材
料費やエネルギーコストの上昇に触れ「こ
れまでの予算編成の延長線上では真に必
要な事業量を確保することは困難」と指
摘した。公共事業予算については、資機
材価格の高騰下でも必要なインフラ整
備を滞らせないため、「実質事業量」を維
持できる規模を求めた。特に27年度予
算では、前年度補正予算と26年度当初
予算の合計を上回る十分な額を確保す
るよう強く要望。「新たな投資枠」の創
設による「危機管理投資」「成長投資」
としての公共事業を、当初予算で別枠
確保することも訴えた。単年度主義や補
正予算依存を見直し、当初予算段階で
安定的な事業費を確保することで、複
数年度にわたる計画的なインフラ投資
を実現すべきだとした。

道建協幹部が会見、予算増額を 自治体含め要望

日本道路建設業協会（道建協）の石井敏
行新会長は、都内で5月20日に開いた総
会後に会見し、「90周年、100周年に向
けた新たなスタートの一年になる。安全で
豊かな国民の暮らしを支える道路インフラ
整備の一翼を担い、次の世代につないで
いく」と抱負を語った。2026年度の事業
方針では、積極的な公共投資への対応と
して、道路舗装予算の増額や物価高騰対
策で要望活動を展開する。中東情勢の影
響については、石井新会長は「アスファ
ルト合材の製造販売コストも大幅に上昇
している」と懸念。適正価格での取引や高
騰分の工事価格への反映を政府与党や発
注機関に働き掛けると述べた。日本アス
ファルト合材協会や日本アスファルト乳
剤協会、日本改質アスファルト協会との
連携強化も表明した。道路舗装予算の増
額に向けては、原燃料費や人件費、輸送
費などの上昇分を十分に転嫁できず、「合
材製造部門の収支を圧迫している状況が
続いている」と指摘。アス合材の出荷量
が激減していることから、「今後の道路
インフラ整

備や災害時の復旧対応にも大きく影響
を及ぼす」と警鐘を鳴らした。

日空衛・小島和人新会長が会見、 「大きな二つの課題」解決へ

日本空調衛生工事業協会（日空衛）の
新会長に就いた小島和人氏（高砂熱学
工業社長）が5月20日、都内で開いた
総会後に会見した。小島新会長は「私の
役目は各地の方々と手を取り合い、でき
ることをしっかりやって課題を解決して
いくことだ」と強調。地域の垣根や企業
規模を越え、「会員が一体となり、（空
調設備工事業の）ブランド力向上や省
力化を進めたい」と語った。「地域によ
って仕事量の濃淡や人材の採用動向も
異なる。きめ細かく対応したい」とも
話した。中東情勢については、会員企
業から寄せられた課題などの情報を4
月末、国土交通省に提供した。資機材
の高騰や円滑な施工に大きな影響を与
える。まずは情報の共有に力を注ぎ、不
測の事態が発生しても対応できるように
していく。総会では、技術・技能者の
不足対策と施工現場の生産性向上を「
大きな二つの課題」と強調。その上で
「日空衛は47都道府県の地域に根差
した会員で構成されていることが特徴
だ。課題解決に粘り強く取り組みたい」
との方針を示し、会員に協力を呼び掛
けた。

中東情勢閣僚会議／ 一人親方、工務店の状況把握

政府は5月21日、中東情勢に関する
関係閣僚会議を開き、石油関連製品の
供給を巡って一人親方を含めた工務店
の資材調達と、塗料・シンナー・断熱材
・塩ビ管・防水関係などの建設資材の
調達状況の実態把握を強化する方針を
確認した。対象を順次拡大する。閣僚
会議を受けて金子恭之国土交通相は同
省の幹部会議で仕入れや価格高騰の状
況把握を確実にしよう指示した。金子
国交相の対応は高市早苗首相の指示を
受けた措置。閣僚会議で高市首相は、
正確な情報発信と川上から川下への流
通過程の実態把握、目詰まりの解消に
全力で取り組むよう閣僚に求めた。閣
僚会議で国土交通省は、建設・住宅資
材について関係省庁と関係団体が連携
した情報収集・共有を行っており、目
詰まりの解消と需給の正常化に向けた
取り組みを働きかけていることを報告
した。一人親方に対して、全国建設労
働組合総連合の地方組

織と国土交通省地方整備局などが調
達・供給の状況をプッシュ型で把握す
る仕組みを構築し、対応する方針を説
明した。小規模工事を行っている中小
工務店、一人親方の調達が「困難とな
る傾向」とも報告した。

道路分野の脱炭素進展、 占用許可基準緩和など後押し

改正道路法に基づく道路分野の脱炭
素化が本格化している。国土交通省に
よると、北海道開発局と沖縄総合事務
局、全地方整備局、高速道路会社が「
道路脱炭素化推進計画」を策定。自治
体でも14県、20市町村が計画をまと
めている。道路空間を活用した再生可
能エネルギー導入や省エネルギー設備
の整備が各地で進めば、道路関連分
野の二酸化炭素（CO₂）排出量を抑
えることにつながる。背景には気候
変動に伴う自然災害の激甚化や頻発
化がある。国土交通省が2025年10
月に発行した「道路分野の脱炭素化政
策集バージョン2.0」によると、道路
関連分野のCO₂排出量は国内全体の
約18%を占めている。政府は道路の
整備や利用、管理などの段階で脱炭
素に関連する取り組みを加速。国土交
通省は30年度に13年度比46%削減
、40年度で73%削減を目指している。

災害時に建機位置情報共有、自治 体含む迅速対応生かす

国土交通省は、災害発生時に建設機
械の位置情報を国や地方自治体が共有
できるシステムを構築する。道路啓開
や復旧作業といった初動対応の際、近
隣にある建機をリアルタイムで一元的
に把握できるなどの効果を期待する。
国土交通省に位置情報を送るシステム
として2025年に試行導入したが、よ
り幅広い活用に向け新総合防災情報
システム（SOBO-Web）と27年度ま
でに連携し、全国の行政機関が把握
可能とする。日本建設機械施工協会
（JCMA）を通じ、事前にデータの共
有に同意した建設会社約1,800社が
保有する建機の位置情報を集約する。
国土交通省と災害協定を締結してい
る日本建設業連合会（日建連）と全
国建設業協会（全建）地方支部の会
員から賛同者を得た。各メーカーが
保有する個々の建機の「テレマティ
クスデータ」を活用する。位置情報に
加え、機種や型式、バケット容量も
把握できる。現時点では▽コマツ▽
キャタピラー▽ジャパン▽コベルコ
建機▽日立建機-の4社の建機から
データを提供してもらう。

特集

「災害と銭湯」

令和6年能登半島地震（2024年1月1日）では、銭湯が被災地の重要な拠点として機能した。家屋倒壊やライフラインの寸断の中、早期に営業を再開した銭湯は、入浴による衛生確保や心身の疲労回復だけでなく、住民やボランティアが集まり、物資や情報が交わる地域のハブとしても活躍した。この役割は、東日本大震災や熊本地震でも確認されている。

従来、避難所運営では入浴は優先度が低かったが、災害経験を踏まえ、入浴施設の設置が指針で明記されるようになった。入浴は身体的・精神的・社会的効果をもち、避難生活の質を支える。現在は自治体と銭湯や宿泊施設、自衛隊による入浴支援が制度化されつつあるが、銭湯は其中で最も日常との接続が強い入浴施設である。日常と地続きにある銭湯に注目することで、その災害時の役割とともに、経営や職人不足などの課題を通して都市のレジリエンスについて再考する特集とする。

※次号の構成、タイトル、執筆者は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Information

本誌への「広告」掲載および「新製品」欄のお問い合わせについて

広告代理店 株式会社建報社宛にご連絡ください。TEL.03-5244-9335（代表）
また、建報社E-mail：info@kenchiku.co.jp から、お問い合わせできます。

本誌掲載の原稿について

本誌に掲載されている依頼原稿は、筆者の責任において執筆いただいております。
したがって、本会の見解と異なる場合もあることをご承知おきください。

2026年7月1日発行（毎月1日発行）

定価 786 円（税込価格／送料別）

振替 00150-5-98877

会員の購読料は会費に含まれます。

消費税増税に伴い、2019年10月号より価格を改定しました。

情報・広報委員会

委員長

山本勝義 [滋賀]

委員

片山和俊 [東京]・大石佳知 [岐阜]

北尾靖雅 [京都]・荻窪伸彦 [大阪]・山本道善 [山口]

編集部長

北尾靖雅・橋本彼路子・榎藤智之・福島加津也

井本佐保里・石黒由紀・六角美瑠・黒川宗範

編集部長相談役

片山和俊

編集アドバイザー

大月敏雄・定行まり子・蟹澤宏剛・大高真紀子

神子久忠・植久哲男・富永祥子・垂水英司

編集人

北尾靖雅

発行人

公益社団法人 日本建築士会連合会

代表者 古谷誠章

発行所

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館

tel 03-3456-2061 ~ 3 fax 03-3456-2067

https://www.kenchikushikai.or.jp

kaishi@kenchikushikai.or.jp

本誌に関するお問い合わせは、メールにてお願いいたします。

編集／印刷製本

バウスグラフィック株式会社

無断転載の禁止

本書掲載の記事（本文、写真、図版など）を本会及び著者の承諾なしに無断で転載（翻訳、複写、データベースの入力、インターネットでの掲載など）することを禁じます。

建築士会の綱領

- われらの建築は 人類の幸福のため 最良の芸術たるべし
- われわれ建築士は 社会の発展のため 最新の指導者たるべし
- わが建築士会は 会員の向上のため 最善の団結たるべし

建築士会会員倫理規定

公益社団法人日本建築士会連合会は、
建築士の社会的使命と職責の重大性に鑑み、
建築士会会員が遵守する倫理規定を定める。

1 法令等の遵守と品位の保持

建築士会会員は、
建築士法を始め関係法令・
定款などを遵守し、
品性とモラルの向上・保持に
努める。

5 説明責任

建築士会会員は、
依頼者に対し、
その業務に関する
十分な説明を行い、
理解を得るよう努める。

2 知識および技能の維持向上

建築士会会員は、
常に建築や地球環境などに
関わる知識および技術の
研鑽に励み、
技能の維持向上に努める。

6 情報の開示

建築士会会員は、
業務範囲および
業務能力などを示す
情報の開示に努める。

3 相互の信頼と協力

建築士会会員は、
相互に信頼し合い、
必要に応じ
他の専門家の協力を得て、
業務を遂行するよう努める。

7 地域社会への貢献

建築士会会員は、
地域の歴史・文化を守り、
良好な景観の形成など、
地域社会に貢献するよう
努める。

4 秘密の保持

建築士会会員は、
業務上知り得た秘密を
他に漏らしてはならない。

マリメッコ展 模様のちから

概要 マリメッコの創業者であるアルミ・ラティアの言葉を手がかりに、様々な年代のドレスやアートワーク、ファブリックを通じて、マリメッコの創造の美学、また継承されるプリントメイキングの技に多角的な視点から光を当てる

◎京都会場

会期 7月4日(土)～9月6日(日)、10:00～18:00
(月曜、祝日の場合は開館、翌平日休館)

会場・問合せ 京都文化博物館 4・3F 展示室
京都府京都市中京区三条高倉
tel 075-222-0888 (代表)

◎東京会場

会期 10月3日(土)～12月20日(日)、10:00～18:00
(月曜、祝日の場合は開館、翌平日休館)

会場・問合せ 東京都庭園美術館(本館+新館)
東京都港区白金台5-21-9
tel 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
<https://marimekko-ex2026-2028.jp/>

第2回「Visional City Design Competition」

概要 第1回で応募があった様々な提案を通して私たちは、都市の「影」を単なる課題として処理するのではなく、そこに潜む構造を見つめ直し、新たな出口を構想することの意義をあらためて認識。その思いから第2回となる本年も引き続き「Exit of DYSTOPIA #2 (ディストピアの出口 #2)」をテーマにコンペティションを開催

エントリー受付 7月31日(金)まで

作品提出締切日 8月31日(月)

応募フォーム <https://triad.tayori.com/f/vcdc-entry2026>

審査員 藤本壮介、千石あや、田中仁、白木夏子、谷尻誠、津川恵理、齋藤精一、武藤弥
賞 最優秀賞(1点)300万円、優秀賞(2点)100万円、特別賞(最大3点)50万円

主催 (株) TRIAD

問合せ Visonal City Design Competition 事務局
<https://triad.tayori.com/f/vcdc-inquiry/>
<https://triad.company/vcdc>

ジョージ・ナカシマの造形
—木の声を聴く—

概要 ナカシマがおよそ30年かけて家族と共に築き上げた仕事と生活の場「ジョージ・ナカシマ・ウッドワークス」をはじめとする、建築の仕事に光を当てる

会期 7月3日(金)～10月15日(木)、10:00～18:00
(土曜、最終日は17:00まで、7/3は19:00まで夜間開館、日・祝日、8/8～16まで休館)

入場料 無料

会場・問合せ GALLERY A4(ギャラリーエークウッド)
東京都江東区新砂1-1-1 竹中工務店東京本店1F
tel 03-6660-6011
gallery_PR@a-quad.jp
<https://www.a-quad.jp/exhibitions/134/index.html>

東京都美術館開館100周年記念

この場所の風景
—上野・大牟田・ブエノスアイレス

概要 多種多様なひとびとが集った上野そして東京都美術館の100年と、そこから遠くはなれた土地で、個人の膨大な熱量によって繰り広げられた創作の営みとを並行してたどる

会期 7月23日(木)～10月7日(水)、9:30～17:30
(金曜は9:30～20:00、月曜、ただし8/10、9/21は開室)

観覧料 一般1,200円

会場 東京都美術館 ギャラリーA・B・C
東京都台東区上野公園8-36
tel 03-3823-6921
<https://www.tobikan.jp/viewsofthisplace/>

家具

「PIED-À-TERRE (ピエダテル)」
幾何学的で、彫刻的、そしてミニマル

TV1240 (Φ120×H74cm) レンガ



TV1270 (Φ125×125-175 H74cm) レンガ

ブルリアート・トラヴェルソがデザインした円形テーブル「ピエダテル」は社交的スタイルの集大成として生まれたコレクション。幾何学的なフォルムを魅力的な建築的存在へと昇華させているのはリサイクル大理石を素材に用いたパラスト(=錘)。この力強い要素がテーブルの基部を支え、グラフィカルで彫刻的なスタイルを生み出している。あらゆる空間で存在感を放ち、見る人の心を瞬時に惹きつける確かなスタイルをもたらすテーブル。

Magis Japan/ マジス ジャパン

tel 03-3405-6050

<https://magisjapan.com>

ポータブル照明

新作ポータブルランプ
「Still (スティル)」発売

Photoby Yuri Takada

Still (スティル) は、AmbientecのロングセラーXtal (クリスタル)の美学と構造を継承した新モデル。クリスタルガラスの質感を際立たせるシンプルなフォルムと、積層されたクリアガラスとカラーガラスのコンビネーションが生み出す光彩のグラデーションが特徴。使用されるガラスは、クリアガラスが2層とカラーガラスであるアンバー1層の3層を、精度高く貼り合わせた透明度の高い特別な積層ガラスです。素材の内部から柔らかに灯る光の奥行きと、穏やかな色の変化が生まれ、昼夜を問わず様ではない表情を楽しめる。価格は46,200円(税込)。

(株) アンビエンテック

tel 045-441-0082

<https://ambientec.co.jp>

タイル

「Maristo Tile Collection2026/27」
空間を心地よく彩る
新作タイル12シリーズが新登場

深い「落ち着き」と前向きな「活力」を両立。空間を心地よく彩る新作タイル12シリーズが登場。大地の豊かさを感じさせるブラウンなどを基調としたタイルは、視界に優しく馴染み、空間に「Calm(落ち着き)」の土台を作る。そこに、水の流れや熟した果実など生命の動きを表現するカラーやテクスチャーを「Vitality(活力)」として重ね合わせるのが、Maristoが提案したいスタイル。住宅から商業施設まで、現代人が求める心地よい空間づくりに貢献するタイルを提案している。

(株) Maristo

tel 03-5573-9202

<https://www.maristo.jp>

冷蔵庫

「インヴィエラ ビルトイン冷蔵庫」
ミラタップ初の家電ブランド

インヴィエラ ビルトイン冷蔵庫は、空間に溶け込むノイズレスな外観と、一般家庭でも導入しやすい価格帯を両立したモデル。冷凍冷蔵の2ドアタイプに加え、冷蔵庫と冷凍庫を独立して設置できるサイドバイサイドタイプも揃え、くらし方に合わせた柔軟な組み合わせが可能。ビルトイン冷蔵庫本体のみを提供する仕様としており、冷蔵庫扉を含む外側の面材(仕上げ材)は付属していません。外装デザインはすべて設置現場でご選定いただく形式のため、キッチン空間のテイストや設計コンセプトに合わせた最適な造作が可能。2026年秋以降には、当社オリジナルのキッチン収納にビルトインできるモデルの展開を予定しており、冷蔵庫そのものを家具と一体化させたより高度な空間設計が可能になる。価格は138,000円(税込)～。

(株) ミラタップ

tel 06-6359-4772

<https://info.miratap.co.jp>



一緒にいるのもいいけれど、
離れてみるのもいいものだ。



ワンプレートもいいけれど、
おかずを分けているお弁当もいいものですね。
主役のハンバーグに、箸休めのブロックリーに。
それぞれの良さが、より、ひきたちます。

人と人の空間も同じです。
間仕切で空間を仕切ることによって、
それぞれの目的や役割にあった居場所ができ、
より、快適に過ごせます。

暮らしのなかに、ちょうどよい空間を。
三和シャッターの間仕切で彩ってみませんか。

三和シャッターの間仕切商品



ガラスパーティション「デュオグラス」
グッドデザイン賞 受賞(2024)



木製学校間仕切「サンスクール」
キッズデザイン賞 受賞(2020)



スチールパーティション

詳しくはこちら▼



手動の開き戸を 簡単に自動化！

手動ドア + FD 20 = 自動化 (自動開き戸駆動装置)

NEW

FD20 自動開き戸駆動装置

自動ドア安全規格「JIS A 4722」に対応



●JIS規格に準拠するために、開き戸用保護センサーの設置が必要となります。NABCOでは、高密度なレーザースキャナー検出により、ドア近傍の安全性を向上するFLATSCAN 3D SWをご用意しています。



紹介動画は
こちら！



※設置環境によっては電気錠等の手配が必要になります。詳細は販売会社へご相談ください。

ナブコ自動ドア

製造元 **ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー**
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル
TEL: 03-5213-1156
<https://nabco.nabtesco.com>

●商品のお求め・お問い合わせは下記の販売会社へご連絡ください。
東日本地区販売会社 ▶ ナブコシステム株式会社 TEL: 03-3593-0181
西日本地区販売会社 ▶ ナブコドア株式会社 TEL: 06-6136-7284
九州地区販売会社 ▶ オリエント産業株式会社 TEL: 092-781-7563



中大規模木造の
構造設計・構造計算
お任せください

中大規模木造専門の 構造設計事務所

木構造デザインでは、在来軸組工法から大規模大断面工法、2×4工法、金物工法やCLT工法まで多種多様な工法の構造計算・構造計画をサポートしています。ご相談・仮定断面のご提案は無料で行っています。

資料請求・お問い合わせはこちらから

<https://tsdesign.co.jp>

木構造デザイン 検索

株式会社 木構造デザイン

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル7階 TEL 03-6897-6322



外壁下地用耐力面材 木造軸組

タイガーEXプログレ

新製品

防火構造

吉野防火 EXP-Y15

窯業系サイディング15mm以上を用いた防火構造
認定番号 PC030BE-4028(横張り)

屋内側はタイガーボードの他に
タイガー防水ボードなども可能です。
小屋裏等は面材を省略できます。

屋外側

タイガーEXプログレ

耐力壁 木造軸組
壁倍率 **2.7**
(標準仕様)
認定番号 FRM-0716



地震に強く、火に強く そしてもっと軽く

従来品より **軽量化** + **優れた透湿性能**

せっこう板に、高防水、高防カビ性能を付加し、
外壁下地用耐力面材としての使用を可能にしました。



耐火性

せっこうでできている無機質系面材は木質系面材と比べ、火に強く燃えない建材



寸法安定性

膨張・収縮などの寸法変化が小さいため施工後の不具合が生じにくい



透湿性

湿気の通しやすさは木質系耐力面材の約14倍、
湿気を通しやすいので結露の発生を抑制



汎用性

室内側の面材を自由にアレンジできるシンプルな防火構造



耐震性

壁全体で力を受け止めるため地震や台風に強い



施工性

カッターでの加工も可能／断熱材を充てんしやすいので、断熱性能を確実に発揮しやすくなる

※詳細は、耐力壁、防火構造の認定書、施工指導書をご確認ください。



YOSHINO
安全で快適な住空間を創る **吉野石膏**

吉野石膏株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル
お問い合わせ 吉野石膏DDセンター 03(3284)1181

